

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 9月 21日 (13:00~14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	6人	0人	14人

前回の改善計画	新しい環境への不安・戸惑いの軽減を図るため。初回利用時には、事業所内（館内）の案内等のオリエンテーションを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	初回利用時に館内の案内等のオリエンテーションという形ではなく、利用者の行動範囲や活動の中で案内や説明を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	11	0	0	14
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?	1	12	1	0	14
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?	3	10	1	0	14
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?	3	9	2	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規利用者の情報をミーティングや基本情報で得ながら受け入れ体制をとることができている。本人や家族の思いや状況等への理解は、日にちを重ね関わりが増えるにつれて、個に合わせたより具体的な支援へとつなげていくことができている。また、利用者が慣れるまでの時期は、職員や他利用者との関係づくりを意識したケアを提供することができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
初期の関わりにおいては、家族との接点はほとんどなく、情報はケアマネジャーや基本情報から得ることが多いため「共感的理解」の認識が低かったと考える。 利用者により不安や戸惑いは違うため、どのような関わり方が必要なのかを把握・理解することに時間を要するため、利用者が慣れていない時期の関わりとして、声かけや気遣いを「何とかできている」と評価する職員がほとんどであった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新しい環境への不安や戸惑いの軽減が図れるよう、当日勤務者は他利用者との仲介的役割を担う。また、トイレの場所など行動の案内もさり気なく行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 9月 21日 (13:00~14:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	6人	3人	14人

前回の改善計画
ミーティング時に管理者から指名された職員が担当利用者についてのプレゼンテーションを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
一巡した後、実施されていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	10	3	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	4	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	7	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	3	10	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の目標と「～したい」という当面の目標に関しては、担当利用者を中心にミーティング・朝の申し送りでの情報共有や小規模の計画書で確認、把握ができている。
日々のかかわりができているかについては、利用者自身が話しやすい会話作りや目標に沿ったりハビリや家事動作の声かけを行うなど、その日の体調や精神面を考えながら実践している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
すぐ確認できる環境なのに小規模の計画書を見ないため一番大事な目標の確認を忘れている、日々のケース記録のページのみ見ている、振り返りをせずやりっぱなしで終わるなどの理由から、チーム内での情報共有ができず、評価の結果を活かせていない。
前回の改善計画に挙げたプレゼンテーションの必要性の理解が不足、全職員が一通りプレゼンテーションを行ったあたりからミーティングの議題項目から消え、行わなくなってしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ミーティングとは別に30分ほどのミニカンファレンスを毎月第一金曜日に行い(13時～)、サービス内容の確認で上がっている利用者や変化がある利用者について話し合う時間を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 9月 21日 (13:00~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	8人	2人	0人	14人

前回の改善計画	サービス実施記録表 (A3) に記入する申送り内容を、中長期間のものは左の申送り欄 (名前の横) に、当日のみの状態変化やケアポイントについては右の申送り欄に分けて、記載していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	計画通り、サービス実施記録表 (A3) に記載をおこなっている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	11	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	12	1	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	9	5	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	13	1	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	10	4	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の体調・気持ちの変化があれば、他職員や看護師・ケアマネに報告し、対策を考え対応している。またその内容について、申送りやケース記録を一読することで情報共有できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の「以前の暮らし方」を知るためにコミュニケーションを図るがうまく聞き出せず、10個以上となると自信はなく出来ていない。 申送りや記録 (SOAP) から本人の声にならない声に気付くこともあるが、チームで言語化しているかという点不足している。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) サービス実施記録表 (A3) に記入する申し送り内容を、中長期間のものは左の申送り欄 (名前の横) に、当日のみの状態変化やケアポイントについては右の申送り欄に分けて、記載していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 21 日 (13:00~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	5 人	4 人	14 人

前回の改善計画
2 回目以降のプレゼンテーション時には、エコマップを提示する。

前回の改善計画に対する取組み結果
2 回目のプレゼンテーションは行えていないのが現状。計画更新時にエコマップの見直しを行っているが全職員が目を通す機会がなく、また意識していなければ忘れてしまいがちになっている。本人の持つつながり（新たなものや薄くなっているもの）を知り、職員間で共有して支援していくことが必要。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	13	1	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	14	0	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	9	5	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	9	5	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人や家族、地域の方とコミュニケーションをとり、情報を得ている。また、毎月ケアマネが面談の機会を持ち、本人や家族の今までの関係性や役割が続けられるように調整し、経過記録やミーティングでの情報共有を行っている。家族や地域の方と話す機会が少ない職員は、ケース記録や計画書、他職員に聴くなどして情報収集をしている。散髪や買い物支援などもなじみの店へ行き、つながりが薄くならないよう心掛けている。エコマップを作製したことにより地域や資源のつながりを知ることができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の方と話す機会がない職員もいるため、本人との会話の中からは情報収集が不十分で、資源がどのようなものなのか、または、資源を理解していても本人の暮らしに地域資源を盛り込むことができていない。管理者やケアマネに任せすぎている面もある。事業所がある圏域の民生委員の方とは関わりが深い、他の圏域（寺井・辰口方面）になると交流や情報共有がしやすい。独居の方も増えてきている中、地域の方々の声かけや家族の方の支えが薄くなってきている。事業所から地域へもっと働きかけるとよいと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
エコマップをケース記録につづり確認しやすくし、ミニカンファレンスでその利用者の地域資源の関係を全職員で把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 21 日 (13:00~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	5 人	4 人	14 人

前回の改善計画	2 回目以降のプレゼンテーション時には、エコマップを提示する。
前回の改善計画に対する取組み結果	2 回目以降のプレゼンテーションは途中で終わってしまったが、利用者の家族構成や利用者に対する考え方・利用者を取り巻く周囲の人間関係を知ることができ、小規模多機能としての支援につながっている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	11	3	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	9	2	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	12	1	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	2	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者のその日の状況に応じて、「通い」「泊り」「訪問」「買物送迎等」などを提供している。また、ケアマネから「家族から得た利用者の状況や状態についての情報」が提供され、状況に合わせてどのような関わりがよいか職員間で話し合い対応している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 前回の改善計画にあげたプレゼンテーションやエコマップ作成が途中で終わってしまった。利用者の「他の人に知られたくない」という気持ちもあり、地域での活動参加が難しく、地域への関わりが少ない。 利用者のその日の状況に応じて「通い・泊り・訪問」を提供するため、職員間でのきめ細かい情報の提供・共有を行う必要がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) エコマップを使い、ミニカンファレンスの中で地域資源を使った支援を具体的に検討していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 21 日 (13:00~14:00)

6. 連携・協働

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	7 人	4 人	0 人	14 人

前回の改善計画	③地域イベントや行事については、掲示板に広報の便りやイベント広告を掲示する。
前回の改善計画に対する取組み結果	計画通り、地域イベントや行事についての広報の便りやイベント広告を掲示板に掲示できている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	9	3	1	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	8	3	3	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	10	2	2	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	9	4	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 前回課題には取り組んでいる。③について、遊イング、職場体験、歌謡訪問、もちつきなどの活動参加は毎年恒例となっており、地域の方々からも案内がきたり、「今年も参加するだろう」と声をかけてくれたりしている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ① ②については管理者やケアマネが主に行っているため、介護職員は行っていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 登録者以外の地域住民が事業所を訪れることが少ないが、地域のイベント等に参加し続けることでつながりができる可能性があるため、前回同様、広報の便りやイベント広告を掲示していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 9月 21日 (13:00~14:00)

7. 運営

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	2	14人

前回の改善計画	空き時間を活用し、運営推進会議録を読み、地域の方の考えなど理解していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議録を全職員が読んでいなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	9	5	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	14	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	14	0	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	10	3	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者、家族からの意見や苦情があった時は、管理者・ケアマネ・職員間で内容を共有し、すぐに対応し改善につなげている。 町の行事への参加、認知症カフェの開催、町内の除雪・側溝掃除に参加など地域の皆さんに溶け込むための活動ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
運営推進会議への意識が薄く、会議録のことを忘れ、目を通していなかった。 ミーティングの時間が1時間と短く、職員間の意見交換をする場面が少ないため、事業所の改善点を各職員から引き出せていない。地域の枠がどこを指すのか分からず、地域に開かれた運営になっているのか分からない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
申送りノートに、運営推進会議録更新のお知らせをし、新しい会議録をすぐに読める環境づくりを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 9月 21日 (13:00~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	1人	1人	14人

前回の改善計画	職員が参加しやすい時間帯(例えば、ランチミーティングのように)での施設内研修を試行してみる。また、参加できなかった職員は、後日、研修資料に目を通し、それを基に、学びや感想を記載する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ランチミーティングではないが、夕方に施設内研修を行った。出席できなかった職員は、後日、資料を見て感想を記載することができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	6	3	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	7	5	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	7	2	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	4	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 時間外であったが積極的に施設内研修に参加している。また、施設内だけでなく、地域や職能団体が主催する研修にも参加している。参加できなかった施設内研修に関しては、後日、研修資料を読み、感想を書き、学びの場になっている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 研修に知事が参加しにくいときであり欠席することもある。後日研修資料を見るが研修内容が詳細に分からないことがある。意識不足からか地域や職能団体の研修内容をうまく伝えきれなかった、リスクマネジメントについても取り組んでいるつもりだったが、仕事への考えが甘かったり、予想の見通しが甘かったりして、ひやりとする場面もあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ミーティングでアクシデント・インシデントの事例を検討する時間を設ける。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 9月 21日 (13:00~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	5人	0人	14人

前回の改善計画	利用者と接する中で、身体拘束（スピーチロック）・虐待・プライバシーの侵害があった場合、気づいた人がその場で注意し、タイムリーな対応と自分の行動を思い出す環境づくりを行う。 個人ケース等の記録は、使用した後はきちんと元の場所に戻す。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束やプライバシー保護について、多くの職員は意識して取り組み、気付いた人は注意し自分の行動を振り返ってもらった。個人ケースなどの記録は元に戻すように心がけ、出しばなしになっている記録は職員同士で片づけることができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	5	0	0	14
②	虐待は行われていない	8	5	1	0	14
③	プライバシーが守られている	2	11	1	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	6	6	2	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	12	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
支援や介護を行う上で身体拘束や虐待に当てはまっていないか、利用者となじみが強く馴れ合いになっていないか、常に意識して取り組んでいる。身体拘束や虐待ではないかと思うときは注意するように心がけている。個人情報は社外に持ち出さないのはもちろんのこと、個人のケース記録についても、記録後、元の場所に戻すように心がけている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
介護技術の勉強不足や個人情報の取り扱いの勉強不足のため、利用者からの問い合わせや会話の中で、個人情報をどこまで話してよいか曖昧になり会話に迷うことがある。 関わりの中で、慣れや無意識からついつい口調が強くなることもあり、自分では虐待とって思っていないが、利用者はそう思っていないかもしれない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 利用者や接する中で、身体拘束（スピーチロック）・虐待・プライバシーの侵害ではないかと感じたり、気づいたりした職員が、その場で注意をする。 ② 個人のケース記録等は、使用した後はきちんと元の場所に戻す。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 きだ整形外科クリニック	代表者	木田泰弘	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域の中で自宅での自分らしい生活が送れるよう、心身の状況や希望、おかれている環境を踏まえ「通い」「泊り」「訪問」のサービスを組み合わせながら支援をしています。在宅での生活を続けるために利用者のみならず、家族の要望や「小さな困りごと」に着目しながら支援させていただいています。また手を出し過ぎることがないように利用者一人一人のできること・持っている力を大切に、日々の生活の中で利用者自身が役割を持って生活できるような環境づくりを心がけています。
事業所名	ケアサービス ふたくち屋	管理者	福岡紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	1人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	今後も、年に1回は自己評価を行い、自分たちのケアの振り返りを行う。	・全職員が自己評価を行い、事業所評価をまとめることができ、振り返りを実践できた。	・毎年毎年、大変ですね。	今後も、年に1回は自己評価を行い、自分たちのケアの振り返りを行う。
B. 事業所の しつらえ・環境	日頃からの職員の明るい挨拶や親しみのある立振る舞いを継続する。 毎月の行事や慰問時のポスターを屋外に掲示できる工夫をする。	・気持ちの良い挨拶を心がけ、実践できた。 ・利用者対象のイベントが主であり、屋外に掲示できる行事がなく、掲示しなかった。	・挨拶もしてくれる。 ・臭いも気にならない。	日頃からの職員の明るい挨拶や親しみのある立振る舞いを継続する。
C. 事業所と地域のかかわり	年度末に活動のDVDを作成し、町カフェの時間を活用し、地域の方にみていただく。	・事業所が行っている認知症カフェと日程が重なっていることもあり、DVDは作成するが、町カフェに参加できていない。	・運営推進会議で見せてくれるような事業所の活動DVDを地域の方に見せてくれるとイメージしやすい。 ・やっぱり、事業所というところは、何か用事がないと入りづらい。	まずは、町カフェに参加してみる。
D. 地域に向いて 本人の暮らしを ささえる取組み	餅つきや遊イングだけではなく、町内で開催している「町カフェ」に参加していく。	・事業所が行っている認知症カフェと日程が重なっていることもあり、町カフェには参加できていない。	・地域といっても、事業所がある地域のことなのか、事業所を利用している人が住んでいる地域のことなのかのかわかりづらいな。	餅つきや遊イングなど、町内で開催している行事に参加していく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	引き続き、現場職員が一人ずつでも会議に参加し、自分たちの取組みを地域の方に直接報告していく。	・マンパワーの関係もあり、年度途中から現場職員が参加することができなくなった。	・会議の中で、地域で少し気になる人の話題などもできる時もある。	可能な場合は、現場職員が一人でも会議に参加していく。 会議に出席している方にフロアを見てもらい、気になったことについて、その場にいる職員に質問をしてもらう。
F. 事業所の 防災・災害対策	水害想定避難訓練だけではなく、その他の避難訓練についても事前に地域の方にお知らせする。	・水害想定避難訓練については事前にお知らせできたが、火災想定避難訓練はお知らせできなかった。	・何かの時には頼りになるかな。	水害及び火災想定避難訓練を事前に地域の方にお知らせする。 また、運営推進会議においてその活動状況についての報告を行う。